

財団法人 日本サッカー協会

平成 19 年度 第 1 回理事会

協議事項

1. 専門委員会 委員・部会員交代の件
<p><競技会委員会></p> <p><u>第4種大会部会</u> 北信越代表 部会員 現) 清水 公一 → 新) 安江信輔</p> <p><u>女子大会部会</u> 北信越代表 部会員 現) 田中 悦博 → 新) 中井 勉</p>
2. J F A アカデミー福島 平成 20 年度入学生選考試験の件
<p>募集学年・人員： 平成 20 年 4 月に中学 1 年生となる男子 15 名程度／女子 6 名程度</p> <p>選考試験日程： 【男子】</p> <p>1 次選考試験</p> <p>8 月 17 日（金） 三菱養和会 巣鴨スポーツセンター（東京都豊島区） 8 月 18 日（土） 東京ヴェルディ 1969（東京都稲城市） 8 月 19 日（日） 東京ヴェルディ 1969（東京都稲城市） 8 月 21 日（火） J F A アカデミー福島 広野グラウンド（福島県双葉郡広野町） 8 月 21 日（火） ビッグレイク 野洲川歴史公園サッカー場（滋賀県守山市） 8 月 23 日（木） J - S T E P（静岡県静岡市） 8 月 23 日（木） 大津町運動公園（熊本県菊池郡大津町）</p> <p>2 次選考試験</p> <p>9 月 8 日（土） 東京ヴェルディ 1969（東京都稲城市） 9 月 9 日（日） 東京ヴェルディ 1969（東京都稲城市） 9 月 22 日（土） J ヴィレッジ（福島県双葉郡檜葉町）</p> <p>3 次選考試験：1 泊 2 日</p> <p>10 月 13 日（土）～14 日（日） 鹿島ハイツ スポーツプラザ（茨城県鹿嶋市）</p> <p>最終選考試験：2 泊 3 日</p> <p>11 月 9 日（金）～11 日（日） J ヴィレッジ（福島県双葉郡檜葉町）</p>

【女子】

1 次選考試験

9月1日(土) 東京ヴェルディ1969(東京都稲城市)

9月2日(日) Jヴィレッジ(福島県双葉郡檜葉町)

9月8日(土) ビッグレイク 野洲川歴史公園サッカー場(滋賀県守山市)

2 次選考試験：2泊3日

10月19日(金)～21日(日) Jヴィレッジ(福島県双葉郡檜葉町)

最終選考試験：2泊3日

11月9日(金)～11日(日) Jヴィレッジ(福島県双葉郡檜葉町)

3. 「HIBINO CUP」(ヒビノ カップ) 支援の件

※(協)資料No.1

主 催：日比野克彦氏(アーティスト)

実施内容：アートとサッカーを融合した普及型イベント

JFA 支援内容：① 後援名義の使用

② J F A アンバサダー等の派遣

③ 都道府県サッカー協会、Jクラブへの協力依頼

④ 参加賞の提供

⑤ J F A ホームページ、J F A ニュース等での告知や記事掲載

実施予定：6月2日(土) 横浜・マリノスタウン

8月19日(日) 水戸・水戸芸術館正面広場

4. 名義使用申請の件

(1) 申請団体：日本フットボール学会

事業名：国際学術会議「7th World Congress on Science and Football(2011)」

主 催：日本フットボール学会 The 7th WCSF2011 実行委員会

協 力：(財)日本ラグビーフットボール協会、(社)日本アメリカンフットボール協会、
(財)日本サッカー協会、(社)日本プロサッカーリーグ、日本オーストラリアン
フットボール協会

協 賛：未定

期 間：2011年 未定

会 場：愛知県/名古屋大学

事業内容：本会議は、英国の著名な研究者 T.Reilly 教授らの呼びかけにより、全てのフットボールコード(サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等)に関連した最先端の科学的知見を集約し、国際的な視野でスポーツと科学を結びつけることを目的とする。

1987年リバプール大会を皮切りに4年に一度世界各地にて開催。
2011年の名古屋での開催は第7回大会となる。

5. 全国社会人サッカー選手権大会 人工芝使用の件

全国社会人サッカー選手権大会は、原則として全面天然芝ピッチで実施するものとし、人工芝ピッチ使用にあたっては下記の通りにする。

1. 施設はJFAロングパイル人工芝公認ピッチであること。
2. 人工芝ピッチ使用は1・2回戦までとし、全31試合のうち最大で6試合まで使用を認める。
一つのチームが連続して人工芝使用となることを避けるものとする。
3. 準々決勝以上は天然芝とする。

6. プロA契約 最低報酬の件

<概要>

日本サッカー協会選手契約（統一契約）のプロA契約に関して、最低報酬年額480万円を設定する（2008年度シーズンから実施）。

背景：

- 1) 選手の地位向上の一環として、Jリーグ選手協会から永年、強く要望されていた。
- 2) プロA、B、Cと三段階の契約システムにおいて、新加入選手は実績をあげるまで報酬面で強い規制を受けている。また、クラブはプロA契約選手に対し一定の拘束力を有している。したがってプロA契約の最低報酬設定は、制度趣旨にも適う施策。
- 3) プロB、C選手の基本報酬上限が年額480万円なので、プロA選手の最低報酬もこれに揃えて年額480万円以上とする。

※ Jリーグ理事会（3月20日）にて承認済み

※ 本決定に伴う規程の変更は2008年度シーズン開始までに実施予定

7. フェアプレー賞の件

平成7年度に設定されたフェアプレー賞選考基準は現状と合わない点があること、またフェアプレーの推進を図るため、選考基準を改正する。

- 資料 フェアプレー賞選考基準（改正案） ※（協）資料No.2 ①
 フェアプレー賞選考基準（相対表） ※（協）資料No.2 ②
 フェアプレー賞授与大会一覧表 ※（協）資料No.2 ③

8. 2007年度フットサル1級審判認定の件

審判委員会での審議の結果、以下の10名をフットサル1級審判員として認定したい。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ①常国 広平 (北海道 : 28歳) | ②瀧永 達治 (関東 (東京) : 41歳) |
| ③小野寺 祐 (関東 (神奈川) : 34歳) | ④延本 泰一 (関東 (東京) : 37歳) |
| ⑤櫻田 雅裕 (関東 (千葉) : 36歳) | ⑥常岡 大展 (関東 (埼玉) : 34歳) |
| ⑦磯崎 政克 (関東 (茨城) : 39歳) | ⑧永井 陽一 (関西 (大阪府) : 41歳) |
| ⑨芝村 洋一 (関西 (京都府) : 33歳) | ⑩宮谷 直樹 (九州 (福岡県) : 27歳) |

*年齢は2007年4月1日時点 平均年齢 : 35.0歳

9. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認の件

1. 公認申請者 仙台市長 梅原克彦

施設名 仙台市泉総合運動場

施設所有者 仙台市長 梅原克彦

ロングパイル ハイブリッドターフ[LP-65]/SRIハイブリッド(株)

人工芝(種類)

公認日 : 平成19年4月19日～平成22年4月18日

公認番号 : 第51号

<特記事項>

- ◆ ハイブリッドターフ(LP-65) は製品検査(ラボテスト)を完了し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査(フィールドテスト)を実施し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者 愛媛県松山市長 中村時広

施設名 北条スポーツセンター球技場

施設所有者 愛媛県松山市長 中村時広

ロングパイル ハイブリッドターフ[XP-62]/SRIハイブリッド(株)

人工芝(種類)

公認日 : 平成19年4月19日～平成22年4月18日

公認番号 : 第52号

<特記事項>

- ◆ ハイブリッドターフ(XP-62) は製品検査(ラボテスト)を完了し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査(フィールドテスト)を実施し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。

3. 公認申請者 茨城県知事 橋本昌

施設名 神栖市矢田部 サッカー場(Cコート)

施設所有者 茨城県知事 橋本 昌
 ロングパイル スーパーターフ[ST-60RS]/大塚ターフテック(株)
 人工芝(種類)
 公認日：平成19年4月19日～平成22年4月18日
 公認番号：第53号

<特記事項>

- ◆ スーパーターフ(ST-60RS) は製品検査(ラボテスト)を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査(フィールドテスト)を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

4. 公認申請者 茨城県知事 橋本 昌
 施設名 神栖市矢田部 サッカー場(Dコート)
 施設所有者 茨城県知事 橋本 昌
 ロングパイル スーパーターフ[ST-60RS]/大塚ターフテック(株)
 人工芝(種類)
 公認日：平成19年4月19日～平成22年4月18日
 公認番号：第54号

<特記事項>

- ◆ スーパーターフ(ST-60RS) は製品検査(ラボテスト)を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。
- ◆ 公認規程に基づき2回の検査(フィールドテスト)を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

10. JFAアカデミーの将来構想の件

※(協)資料No.3

11. 平成18年度公認S級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記9名を公認S級コーチと認定する。

氏名：江尻 篤彦(えじり あつひこ)
 所属チーム：JFA ナショナルコーチングスタッフ/アルビレックス新潟
 生年月日：1967年7月12日
 資格：2003年 公認A級コーチ(旧B級コーチ)
 指導歴：2005年ー アルビレックス新潟(ヘッドコーチ)
 2000年ー2004年 ジェフユナイテッド市原(トップコーチ)
 2000年 ジェフユナイテッド市原(ユースコーチ兼サテライトコーチ)

氏名：大嶽 直人（おおたけ なおと）
所属チーム：京都サンガ F.C.
生年月日：1968年10月18日
資格：2003年 公認B級コーチ（旧C級コーチ）
指導歴：2006年 京都パープルサンガ育成U-18 コーチ
2003年-2005年 京都パープルサンガトップコーチ
2003年 京都パープルサンガ育成U18 コーチ
2002年 京都パープルサンガ育成普及部コーチ

氏名：片野坂 知宏（かたのさか ともひろ）
所属チーム：ガンバ大阪
生年月日：1971年4月18日
資格：2000年（旧C級コーチ）
指導歴：2006年 大分トリニータ U15 コーチ
2005年 大分トリニータ強化部兼育成部コーチ
2004年 大分トリニータ強化部スカウト担当

氏名：黒田 剛（くろだ ごう）
所属チーム：私立青森山田高等学校
生年月日：1970年5月26日
資格：2005年 公認A級コーチ（旧B級コーチ）
指導歴：1995年- 私立青森山田高等学校監督

氏名：後藤 義一（ごとう よしかず）
所属チーム：横浜FC
生年月日：1964年2月20日
資格：2000年 公認B級コーチ（旧C級コーチ）
指導歴：2004年- 横浜FCユース監督
2002年 横浜FCアシスタントコーチ

氏名：小林 慎二（こばやし しんじ）
所属チーム：横浜F・マリノス
生年月日：1963年10月17日
資格：2004年 公認A級コーチ（旧B級コーチ）
指導歴：2004年-2006年 横浜F・マリノス育成普及「ふれあいサッカープロジェクト」
2005年-2006年 山梨県立韮崎高等学校テクニカルコーチ
2003年 横浜F・マリノスユースコーチ
2002年 横浜F・マリノストップコーチ

氏名：瀧上 知巳（たきうえ ともみ）
 所属チーム：長崎県立国見高等学校
 生年月日：1967年1月15日（39歳）
 資格：2003年 公認A級コーチ（旧B級コーチ）
 指導歴：1995－2006年 熊本国府高等学校監督
 1991－1995年 長崎県立国見高等学校サッカー部コーチ

氏名：森下 申一（もりした しんいち）
 所属チーム：京都サンガF.C.
 生年月日：1960年12月28日
 資格：2000年 公認B級コーチ（旧C級コーチ）
 指導歴：1999年－2006年 ジュビロ磐田トップゴールキーパーコーチ
 1998年 京都パープルサンガトップゴールキーパーコーチ

氏名：山崎 茂雄（やまざき しげお）
 所属チーム：飯能ブルーダー
 生年月日：1963年7月16日
 資格：2005年 公認A級コーチ（旧B級コーチ）
 指導歴：2006年 大宮アルディージャユース監督
 2005年 埼玉県国体少年選抜（監督）
 2003年－2004年 埼玉県トレセンチーフコーチ（U16・17）
 1997年－2006年 埼玉県立川越南高校

12. 公認指導者ライセンスの体系及び名称の件

※（協）資料No.4

公認A級コーチU12養成講習会を新設することに伴い、公認指導者ライセンスの体系と名称について再検討した。体系の考え方と名称については別紙資料のとおりとする。

体系：別紙資料のとおり

名称：（修正）公認A級コーチ ⇒ 公認A級コーチジェネラル
 （新設）公認A級コーチU12

※その他のライセンスは従来どおり

13. 平成18年度公認A級コーチ養成講習会判定結果の件

※（協）資料No.5

14. 平成 18 年度公認 B 級コーチ養成講習会判定結果の件

※ (協) 資料 No. 6

15. 2007 ナショナルトレセン U-14 開催要項の件

※ (協) 資料 No. 7

16. 大学・専門学校における指導者養成講習会の件

以下の大学・専門学校において、平成 19 年度以降より公認 C 級・D 級コーチ養成講習会の開設を認める。

1. 山梨大学 教育人間科学部 (山梨県) (C 級・D 級)

インストラクター：加藤朋之 (公認 47FA インストラクター)

公認 B 級コーチ

主な指導歴：1994 年～1997 年 阿見フットボールクラブ コーチ

1992 年～1993 年 筑波大学蹴球部 コーチ

1995 年～2004 年 東京女子体育大学サッカー部 監督

1997 年～ 山梨大学蹴球部、女子蹴球部 監督

17. 平成 19 年度 J F A アンバサダーの件

次の 6 名を、平成 19 年度 J F A アンバサダーとして新たに推薦いたします。

【新規】

氏 名：本田 泰人

生年月日：1969 年 6 月 25 日 (37 歳)

出身：福岡県

試合出場数：日本代表 (国際 A マッチ) 31 試合、J1 リーグ戦 328 試合

所属チーム：二島スポーツ少年団 → 響南中学校 → 帝京高校

→ 本田技研 (JSL) → 鹿島アントラーズ (2006 年シーズン終了後引退)

※保有資格：C 級

氏 名：野田 朱美

生年月日：1969 年 10 月 13 日 (37 歳)

出身：東京都

試合出場数：日本女子代表 (国際 A マッチ) 76 試合

所属チーム：読売サッカークラブベレーザ → 宝塚バニーズ

(1996 年シーズン終了後引退)

※保有資格：C 級

氏 名：大竹 奈美

生年月日：1974年7月30日（32歳）

出身：東京都

試合出場数：日本女子代表（国際Aマッチ）46試合

所属チーム：本町田サッカークラブ → 読売日本サッカークラブベレーザ
(2001年7月引退)

※保有資格：B級

氏 名：川上 直子

生年月日：1977年11月16日（29歳）

出身：兵庫県

試合出場数：日本女子代表（国際Aマッチ）48試合

所属チーム：高丘西小学校 → 田崎真珠神戸 FC レディース → TASAKI ペルーレ FC →
日テレ・ベレーザ (2006年シーズン終了後引退)

氏 名：東明 有美

生年月日：1972年6月1日（34歳）

出身：岐阜県

試合出場数：日本女子代表（国際Aマッチ）43試合

所属チーム：則武若鮎サッカー少年団 → 岐阜女子 FC
→ プリマハム FC くノ一（現伊賀 FC） (2000年シーズン終了後引退)

氏 名：大部 由美

生年月日：1975年2月15日（32歳）

出身：鳥取県

試合出場数：日本女子代表（国際Aマッチ）85試合

所属チーム：ドリームレディース → OKI FC WINDS → YKK AP フラッパーズ
→ TEPCO Mareeze (2006年シーズン終了後引退)

※保有資格：C級

◆「JFAアンバサダー」の定義（目的および役割）

日本代表経験者の中から、過去の実績や日本サッカー界への貢献度等に基づき「JFA アンバサダー」を選定する。

「JFA アンバサダー」は、既存のサッカー関係者だけでなく広く世間一般にも知名度の高い点を生かしながら、トレセン活動やキャプテンズ・ミッション関連活動（キッズ、レディースサッカー等）などのJFAの各種事業へ参加し、JFAの活動を積極的にPRする。

これを通じて、全ての人々にサッカーをより身近なものに感じてもらい、サッカーのより一層の普及を推進し、また若年層のプレーヤーに「日本代表」をより現実的な存在として感じてもらうことにより、プレーヤーのモチベーション向上の役割を担う。

◆選定に関する基準

1. 日本代表選手としての過去の実績・サッカー界への貢献度、及び本人の資質・状況等を総合的に勘案し、選定する。
2. JFAのユース育成方針・普及活動方針に同意する者とする。
3. CHQと連携を取りながら、技術委員会・女子委員会（女性の場合）にて選定し、理事会の承認を得る。

◆任期

原則として1年間とする。(但し、再任も可とする)

◆主な活動内容

1. ナショナルトレセン (U-16・U-14・U-12・女子U-15)
2. JFA エリートプログラム
3. スーパー少女プロジェクト
4. こころのプロジェクト
5. キッズサッカーの普及活動
6. レディースサッカーの普及活動
7. フットサルの普及活動
8. キャプテンズ・ミッション関連の活動

◆その他

主管部署は技術委員会・女子委員会(女性の場合)/技術部とし、CHQ および事業部と連携を取りながら、スケジュール管理、派遣依頼の対応を行なう。

※女性のアンバサダーが新たに就任することに伴い、_____の部分を加筆・修正

18. 2007 ナショナルトレセンコーチ追加の件

※ (協) 資料No.8

氏 名 : ハーフナー デイド (HAVENAAR Dido)
 生年月日 : 1957年9月26日
 所 属 : フリー
 契約期間 : 平成19年4月20日～平成20年1月31日
 分 掌 : ナショナルトレセンコーチ (GK コーチ)

19. 女子 特別指定選手制度の件

1. 目的

サッカー選手として最も成長するユース年代に、種別や連盟の垣根を越え、「個人の能力に応じた環境」を提供することを目的とする。

2. 概要

なでしこリーグ加盟外チームに所属する、各年代の日本女子代表選手またはそれに準ずる選手の中から、日本サッカー協会女子委員会が指定した選手が、所属チーム登録のまま、なでしこリーグ加盟チームで活動し、さらになでしこリーグの試合に出場することを可能にする。

3. 認定資格

- 日本国籍を有する女子選手
- 日本サッカー協会加盟登録選手
- なでしこリーグ加盟外チーム所属選手
- 健康であることを証明された選手

4. 認定基準

選手の成長過程を十分に把握したうえで、女子委員会がその選手の総合的な能力（素質、才能、潜在能力、顕著な優れた特長など）を評価し判断する。また、当該選手の活動範囲（地域性）を考慮し、個人の高い能力をさらに伸ばすなでしこリーグ加盟チームを受入先とする。

5. 認定期間

協会、選手（保護者）、所属元（なでしこリーグ加盟外チーム）、受入先（なでしこリーグ加盟チーム）、学校の五者で協議のうえ、年度内で適切な期間を設定する。

ただし、認定期間途中であっても事情により解除することができる。

6. 活動対象試合

- なでしこリーグ ディビジョン1 / ディビジョン2
- なでしこリーグカップ（なでしこジャパンの選手を除く大会）

7. 懲戒罰の消化対象試合

強化指定選手が所属元チームの試合で受けた懲戒罰は、所属元チームの直近の試合に適用し、なでしこリーグの試合には適用しないことを原則とする。また強化指定選手がなでしこリーグ試合で受けた懲戒罰は、なでしこリーグの直近の試合に適用し、所属元チームの試合には適用しないことを原則とする。

但し、出場資格停止処分が複数試合にわたるなど重大と考えられる場合については、JFA規律・フェアプレー委員会が、なでしこリーグ規律委員会と協議のうえ、懲戒罰の適用試合を決定する。

8. 経費

選手の活動にかかる以下の経費は、協会と受入先が次のとおり負担する。

- 協会が負担するもの
 - メディカルチェック・交通費（自宅・所属元～受入先間の交通費）・傷害保険
- 受入先が負担するもの
 - 食費・宿泊費・その他（受入先でチームの一員として活動する際にかかる経費）

20. キャプテンズ・ミッション（CHQ）関連事項の件

I. 平成20年度以降の各種支援制度等補助金計画について（協議事項）

※（協）資料No.9

II. 平成 19 年度「JFAメンバーシップ制度基本還元金」について（協議事項）

※（協）資料No.10

III. 新キャプテンズ・ミッション(平成 19 年 4 月～)について（協議事項）

※（協）資料No.11①②

IV. M11：スポーツマネジメントの強化 業務推進体制について（協議事項）

※（協）資料No.12

V. CHQ業務総括／業務目標について（報告事項）

1. 平成 18 年度下期 業務総括

※（協）資料No.13

2. 平成 19 年度上期 業務目標

※（協）資料No.14

VI. 平成 19 年度 法人格／常勤事務局体制について（報告事項）

※（協）資料No.15

VII. 平成 19 年度 キャプテンズ・ミッション各種支援制度等活用度について（報告事項）

※（協）資料No.16

VIII. その他(報告事項)